

### 第3回湧別川河川整備計画検討会 議事要旨

日時：平成22年7月2日(金) 14:30～16:30

場所：遠軽町福祉センター

事務局より前回の補足説明及び「湧別川水系河川整備計画（原案）」の説明を行い、以下のような検討が行われた。

#### ■ 補足説明について

委員) 前回の検討会においてケショウヤナギについて報告したが、調査の結果、エゾヤナギだったので、訂正する。

委員) 堤防の保護対策区間検討時における、高水敷の無次元掃流力を算出するときの粒径を後日教えていただきたい。

#### ■ 「湧別川水系河川整備計画（原案）」について

委員) コンクリートブロックの護岸の覆土や掘削箇所の掘削後の植生回復のための覆土については、現地の表土を活用するのが望ましい。

委員) 覆土は上手くいった事例が少ない。コンクリート護岸のままの箇所もあり、その状況でもツルヨシ等の植生が見られる。覆土は必要ないのではないか。

事務局) 場所によって考え方を考える必要があると考えている。市街地で高水敷の利用があるところでブロックがむき出しになっていると、利用者の安全上の問題や景観上の問題などがある。このため、高水護岸には覆土して芝を植えることを考えている。

委員) 河道掘削箇所は融雪出水時に掘削面が水に浸かるため、覆土をしても流出すると考えられる。

委員) 掘削はやむを得ないが、掘削箇所の一部にワンドを形成することはできないか。

委員) 今回の掘削箇所では、埋まってしまうことが考えられるため、ワンドは難しいと思う。

- 委員) ワンドは無理でも掘削面や水際のアンジュレーションなどをつけるなど工夫する余地はある。
- 事務局) 河川の工事を実施する際には河岸の多様な環境の創出ができるように考えていきたい。
- 委員) 網走川では自然に配慮した河道掘削等を行っているが、検討内容を湧別川に活用できないか。
- 事務局) 網走川中流はワカサギの産卵床の保全、創出を踏まえた掘削方法、順序などを考えている。また、掘削区間も湧別川より長く、湧別川とは状況が異なるので一概に同様の方法を適用することは出来ないが、湧別川の特徴や施工内容等を踏まえ、事前、事後の調査、評価を行い対応していきたい。
- 委員) 現地を確認したところ、増水時に河道掘削箇所の左岸側が洗掘されている様子が見られたので、注意が必要。また、アオサギの営巣があるかもしれないため、工事実施前には確認してほしい。
- 委員) 費用対効果で農作物被害は計上しているが、水産物の被害は計上されていない。それらも計上するべきではないか。
- 委員) 環境に関わる効果についても入れるべきだと思う。水産についても同様。
- 委員) 工事による環境に対する負荷については、マイナスの便益として計上はしていないということでしょうか。
- 委員) 間接的な効果は評価しづらく、費用対効果に盛り込むのは難しいと思われる。
- 事務局) 費用対効果の算出はマニュアルに準じて行っており、被害額は、水害による様々な被害のうち一部の被害額を算定しているもの。現在の方法が最良とは認識していないが、人命、リスクプレミアム、水産、環境などを考慮した被害算定方法については、今後検討しなければならない課題である。
- 委員) P39の「情報の収集」は定期的に分析し、維持管理に反映することを開発局が行うということか。

事務局) 開発局で収集した情報は、開発局主体として整理・分析を行う。分析の際には委員の皆様にご協力をお願いしたい。

委員) P18 下から 5 行目「採餌地」の前に「繁殖地」を追加してほしい。

委員) 流域には黒曜石が存在しており、地域の特徴でもあるので、地質の項目に記載してほしい。

委員) P22 の 3 行目に「サッカー場」も追加してほしい。

委員) P38 に記載されている維持管理計画や維持管理実施計画は公開されるのか。

事務局) 河川維持管理計画は現在作成中であり、公表する方向で今後検討を行っていきたい。

委員) P36 「魚類等の移動の連続性」の取水施設で、現時点での具体的な対策案は決まっているのか。

事務局) 現段階で具体案は決まっていない。今後関係機関と情報共有しながら検討を行っていききたい。

#### ■今後の進め方について

事務局) 本日頂いたご意見について検討させていただくとともに、整備計画（原案）を地元の方々へ縦覧し、ご意見を頂く予定。それらのご意見を踏まえ、整備計画（案）の作成を進めていく。次回検討会にて報告したい。

以 上